

110度CSで新通信サービス

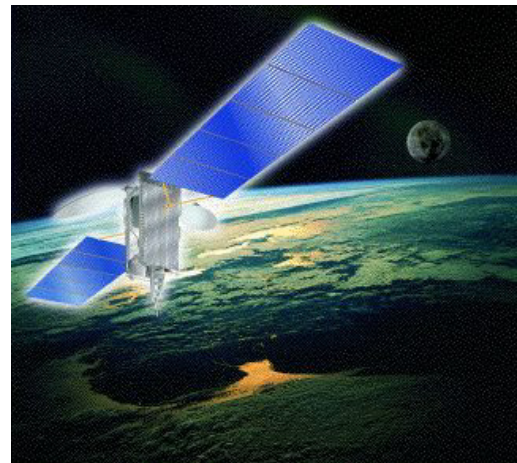
～宇宙通信、来年初めから「G2トルネードサービス(仮称)」を開始～

宇宙通信株式会社

宇宙通信株式会社は、2003年初めから、現在プラットフォームによるCS放送を提供している110度CSを使った新しい通信サービスを開始する。

新サービスの名称は「G2トルネード(仮称)」。
東経110度の静止軌道位置で運用するスーパーバードD号機(N-SAT-110)の左旋偏波トランスポンダを利用したサービスで、送受、送信等の付加機能を含めたサービスメニューを準備する。

110度CS放送と同じ受信機で視聴できるBS(放送衛星)デジタル放送用アンテナを設置済みのビルなら、初期投資が従来型の十分の一以下ですむ場合もあるほか、運用費用の大幅軽減が見込まれる。



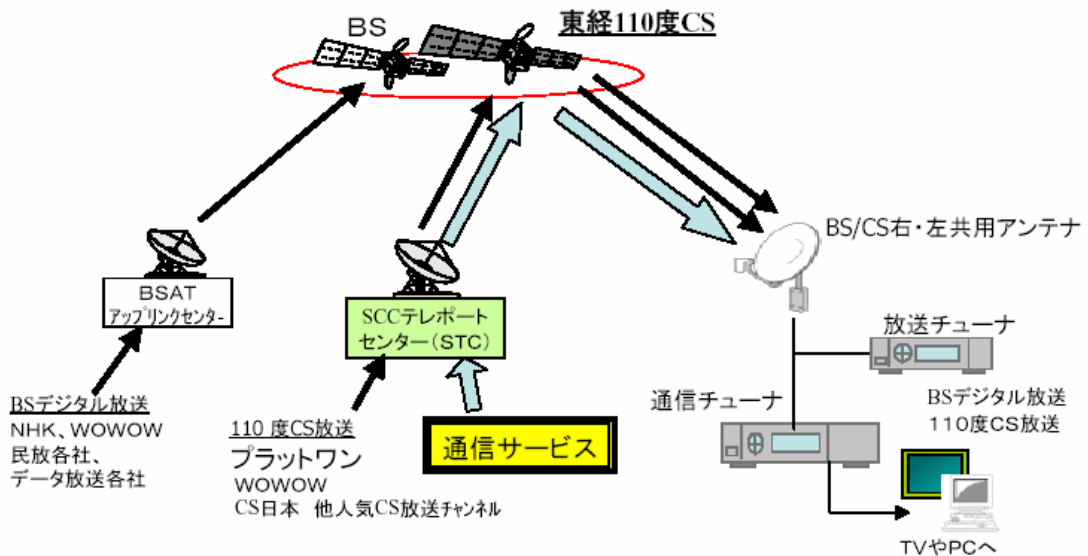
【スーパーバードD号機(N-SAT-110)イメージ図】

サービスの特徴は次のとおり。

1. 受信アンテナはBSデジタル放送用受信アンテナと共用可能なので、既に設置されている場合、受信アンテナ及び設置工事費の初期投資額が、最大10分の1以下に低減される。
またBSデジタル放送及び110度CS放送の番組受信も可能。(別図参照)
2. 最新の圧縮技術を採用することにより、従来と比較して、約2分の1程度の衛星回線料で高品質の映像、音声、データ伝送が可能となった。
3. 受信機の仕様は幅広いラインアップを用意する予定であり、映像伝送等に対応する簡易型の受信機からIP伝送や蓄積機能を搭載した高性能型の受信機まで、お客様の利用用途により自由に選択可能。

「G2トルネード(仮称)」のサービスイメージ

BS衛星と同軌道位置にある為、受信アンテナ及び配線をBSと共用することが可能。



コンディショナルアクセス方式(CAS)については、欧州の衛星放送規格であるDVB方式に準拠し、世界中の衛星放送で数多く使用されているNagra社(ナグラ社:スイス)の方式を採用する。このため受信機は世界中で普及している民生品を転用でき、これまで衛星通信サービスを利用する際に障害となっていた受信設備費用を大幅に低減できる。

受信機の販売は、以前より海外の衛星通信機器を扱ってきた技術商社や、海外で衛星受信機を販売している国内大手メーカーによって行われる予定。

宇宙通信では、東経110度のスーパーバードD号機からの伝送メリットを活かし、通信と放送の境界領域に属する案件をメインターゲットに「G2トルネード」を販売していく方針である。既に会員組織を持つ保険会社、FCチェーン、塾・予備校、通販会社、製薬会社、カード会員組織を持つ企業・団体等より引き合いを得て検討を進めている。

放送は万人に番組を送信しなければならないが、通信であれば受信者を送り手側の任意で限定することが可能。会員組織等においては、会員にのみ限定して番組を送りたいという需要がかなりある。また、対象を会員に限定する通信ということであれば、放送事業者としての認定や登録といった行政手続きや、最低放送時間、番組審議委員会の設置等、放送を行う上で必要な義務が不要であり、誰でも簡易にコンテンツを衛星配信することが可能である。

一方、110度CS放送の放送事業者と連携してサービスをおこなうことも検討している。店舗での利用において、顧客向けには110度CS放送の番組を放映し、事務室では従業員用の教育用コンテンツを流すといった使い方や、放送番組と連動した会員向けの限定コンテンツを通信サービスで配信する等の利用法を計画している。

企業や団体等における会員向け映像配信という需要は、ブロードバンドインターネットの普及や携帯電話による動画通信の開始によって大きく高まっている。衛星回線はインターネットに比べてシンプルな回線構成でかつ高速大容量の専用回線であるため、より高速で鮮明な動画を極めて安定した品質で伝送することが可能であり、また何千万人に対し同時配信することが可能である。

宇宙通信は、この新サービス「G2トルネード」により、これまで障害となっていたアンテナ設置や高額な受信機という問題を改善し、BSデジタル放送、110度CS放送と連動することで、新しい衛星通信の価値を創造し提供していく方針である。

以上



茨城衛星管制局(SPE)とSCCテレポートセンター(STC)